

- 問1 古墳の中に、武器や祭りの道具などが一緒に納められたのはなぜだと考えられていますか。
- 問2 縄文時代の人々が、食べ終わった貝がらや動物の骨などを捨てた場所のことを何といいますか。
- 問3 遣唐使が唐（中国）へ送られた目的は何ですか。
- 問4 寝殿造は、どのような人たちが住んだ大きなやしきの建築様式ですか。
- 問5 打製石器が使われていたのは、何という時代ですか。
- 問6 青森県にある三内丸山遺跡は、どのような遺跡ですか。
- 問7 鑑真が日本で仏教を教えるために建てた、奈良にあるお寺の名前は何でしょう。
- 問8 794年に、不安定だった政治を立て直すために京都につくられた都は何ですか。
- 問9 平安時代にえがかれた「大和絵」は、どのようなものを題材にしていますか。
- 問10 藤原道長とともに、11世紀前半に藤原氏の最も栄えた時代を築いた、道長の子は誰ですか。
- 問11 昔の大きな墓である「古墳」のまわりに立て並べられた、土で作られた人形や家の形をしたものを何といいますか。
- 問12 中大兄皇子らが大化の改新を始めたのは、どのような国づくりを目指すためですか。
- 問13 聖徳太子は、どのような豪族と協力して天皇中心の新しい国づくりを進めようとしたか。
- 問14 743年に、聖武天皇が仏教の力で国を守るためにつくることを命じた、大きな仏像は何ですか。
- 問15 8世紀の初めに、今の奈良県につくられた新しい都の名前は何ですか。
- 問16 大昔の日本で、天皇を中心とした国づくりを進めるために、中国の「唐」の制度をお手本にしてつくられた法律を何といいますか。
- 問17 古墳時代とは、どのような時代ですか。
- 問18 今から1万年以上前の、日本が大陸と陸続きだった時代を何といいますか。
- 問19 平清盛が武士として初めて就任した「太政大臣」とは、どのような役職ですか。
- 問20 武士たちが、力の強い者をかしらにしてつくった集団のことを何といいますか。
- 問21 縄文時代の人々が暮らしていた、地面をほって柱を立ててつくった住居を何といいますか。
- 問22 7世紀後半から8世紀初めにかけて、日本が「律令」という法律を整えた一番の目的は何ですか。
- 問23 1159年におこった平治の乱で平清盛を中心とする平氏が勝利したことにより、平氏はだれにかわって政治の実権をにぎるきっかけをつくりましたか。
- 問24 聖徳太子が小野妹子らを遣隋使として中国に送ったのは、どのような目的のためですか。
- 問25 清少納言によって書かれた、平安時代を代表する随筆（ずいひつ）は何ですか。
- 問26 鑑真が命がけで日本に来た目的は、主に何をするためだったのでしょうか。

答え合わせ・解説 No.8

問1	答え 亡くなった人の権力を示すため	古墳に納められた武器や道具は「副葬品」と呼ばれます。これらは、亡くなった人が生前どれほど力を持っていたかや、どのような役割を担っていたかを示すために、豪華なものを選びました。あくまで有力者の権威をあらわすためのものです。
問2	答え 貝塚	縄文時代の人々が、貝がらや動物の骨などのゴミを捨てた跡のことを貝塚といいます。
問3	答え 政治や大陸の文化を学ぶため	遣唐使は、唐の優れた政治の仕組みや大陸の進んだ文化を日本に取り入れて学ぶために送られました。
問4	答え 貴族	寝殿造は、平安時代の貴族が住むための大きなやしきの建築様式です。
問5	答え 旧石器時代	打製石器は、旧石器時代に使われていた石器です。
問6	答え 縄文時代の建物の跡が発見された遺跡	三内丸山遺跡は、青森県にある縄文時代の建物の跡が発見された遺跡です。
問7	答え 唐招提寺	鑑真は日本にやってきた後、弟子たちと一緒に唐招提寺を建てました。このお寺は、当時の仏教を学ぶための大切な拠点となり、今の時代までその文化が受け継がれています。
問8	答え 平安京	794年に、不安定だった政治を立て直すために京都につくられた都を平安京といいます。
問9	答え 日本の自然	大和絵は、日本の自然を題材にして、貴族のやしきのびょうぶやふすまなどにえがかれました。
問10	答え 頼通	藤原道長は、子の頼通とともに藤原氏の最も栄えた時代を築きました。
問11	答え 埴輪	古墳の周囲に立て並べられた素焼きの土製品は「埴輪（はにわ）」と呼ばれます。土偶は主に縄文時代に作られたもので、古墳時代に作られた埴輪とは時代が異なります。
問12	答え 天皇を中心とする国づくり	大化の改新は、一部の豪族ではなく、天皇を中心とした国づくりを進めるために始められた改革です。
問13	答え 蘇我氏	聖徳太子は、当時の有力な豪族であった蘇我氏と協力して、新しい国づくりを進めました。
問14	答え 東大寺の大仏	743年に聖武天皇の命令によってつくられた、仏教の力で国を守るための大きな仏像は、東大寺の大仏です。
問15	答え 平城京	710年に奈良（当時の名前は平城）に移された都です。平安京はその後、京都（平安）に移された都であり、長安は中国の唐の都で、平城京をつくる際のモデルとされました。
問16	答え 律令	当時の日本は、中国の進んだ文化や制度を積極的に取り入れていました。中でも、唐の国づくりを参考に整備された法律を「律令」と呼びます。この法律によって、天皇を中心に全国をまとめる政治のしくみが整えられました。
問17	答え 全国各地に古墳がつくられた時代	古墳時代は、全国各地に古墳と呼ばれる大きなお墓がつくられた時代のことです。
問18	答え 旧石器時代	今から1万年以上前で、日本が大陸と陸続きだった時代を旧石器時代といいます。
問19	答え 朝廷の最高位の役職	太政大臣は朝廷における最も高い位の役職で、平清盛は武士の身分からこの地位にのぼりつめました。
問20	答え 武士団	武士たちが力の強い者をかしらにしてつくった集団を「武士団」といいます。
問21	答え 竪穴住居	縄文時代の人々は、地面をほって柱を立ててつくった「竪穴住居」に暮らしていました。
問22	答え 天皇を中心とした強い国づくりを進めるため	当時の日本は、唐（中国）などの進んだ国に対抗するため、国のきまり（律令）を全国で統一し、天皇を中心として国全体をまとめる仕組み（中央集権国家）を目指しました。律令は、税金の集め方や役人の働き方などを定めた大切なルールブックでした。

問23	答え 藤原氏	平治の乱で勝利した平氏は、それまで政治を行っていた藤原氏にかわって、新しく政治の実権をにぎるようになりました。
問24	答え 中国の文化や学問、政治のしくみを取り入れるため	遣隋使は、当時の中国（隋）の進んだ文化や学問、政治のしくみを日本に学んで取り入れるために送られました。
問25	答え 枕草子	清少納言によって書かれた、平安時代を代表する随筆は「枕草子」です。
問26	答え 仏教の正しいルールや教えを広めるため	当時の日本には、仏教の教えを正しく守るための「戒律（かいりつ）」というルールがしつかりと整っていませんでした。鑑真は、仏教を正しく学びたいという日本の僧侶たちの願いに応じて、厳しいルールを正しく伝えるために来日しました。
